



みみだより

松江ろう学校 支援部

No. R2-5 2021. 3. 5

吹く風の暖かさに、春の訪れを感じます。

さて、今年度最終号の「みみだより」では、「小学部の自立活動の紹介」、「生活に役立つ機器の紹介」、「卒業した先輩へのインタビュー」、「映画上映会のご案内」についてお伝えします。



小学部の自立活動の紹介～わくわく発表会～

2月10日に「わくわく発表会」を行いました。この発表会は、小学部が長年行っている取組の一つです。子どもたちがグループごとに学習の成果等伝えたいことを保護者の方や友だちに発表します。この発表会では、「相手に伝えたいことをわかるように話す」「友だちの発表に興味を持って聞き、頑張っていることや好きなことを知る」「発表したことが相手に伝わった喜びを感じる」というねらいをもって取り組んでいます。

子どもたちは、担任の先生と原稿の一つ一つの言葉の意味を考えながら手話表現と一緒に確認したり、声の大きさや話す速さに気を付けて言ったりと、相手にしっかり伝わるように練習を進めてきました。本番では、心地よい緊張感に包まれた中、いきいきとした表情で堂々と発表することができました。また、友だちの発表を真剣なまなざしで見たり聞いたりする様子も見られました。発表後の子どもたちの表情はとても満足気で、充実感に満ちあふれているようでした。このように相手に伝わった喜びを積み重ねることは、自分の伝えたいことを「もっと伝えたい」、相手のことを「もっとわかりたい」という思いを膨らませ、人との関わりを深めていく土台になると感じています。さらには、相手によりわかりやすく伝わるための方法に気づいたり相手の伝えたいことをわかろうとしっかり聞いたりする力にもつながっていくと思います。

今後も、学校生活を通して、「もっと伝えたい」「もっとわかりたい」という思いが膨らむような子どもたちの“関わり合い”を大切にしながら取り組んでいきたいと思っています。

日常生活に役立つ機器を紹介します！～固定電話編～



今回のみみだよりでは、固定電話に関する機器を紹介します。

☆電話機の音を増幅☆



ジャンボプラス

中等度難聴の方もよく聞き取れる高性能電話機です。通話の音量を最大60dBまで増幅できます。

☆通話を文字化☆



テレフォンテキスト

受話器に機器を接続してパソコンやスマホと繋げると、固定電話の通話が文字化されます。

☆電話機の音声を Bluetooth で人工内耳へ届ける☆



電話録音用 IC レコーダー 録音キット

人工内耳のマイク

Bluetooth



実際に職場で使っている先輩に教えてもらいました！

電話機の音声を電話録音用 IC レコーダー録音キット（朝日電気）に出力し、人工内耳用のマイクを通じて人工内耳に届けます。



卒業した先輩へのインタビュー

昨年3月に本校高等部を卒業し、県外の大学に通っている先輩にインタビューをしました。大学の支援センターに相談もしながら、最初の1年間が終わろうとしているようです。

質問① 大学生活は、どうですか？(楽しいですか？大変ですか？理由も教えてください。)

答え：大学生活は初めてのことばかりで楽しいことも大変なこともあります。毎日が新鮮です。楽しいことは、自分と同年代の人の意見や考えを知ることができることです。例えば、講義の中で20数人から100人を超える意見を知ることができます。ろう学校にいた時は、先生と自分の意見に限定されていたので、異なる意見を知れることに楽しくなりました。大変なことは、コミュニケーションです。友達や先生と会話する時も聞こえにくいと分からないことがあり、分かったふりをしてしまうことがあります。分かったふりをしていても良いことはないので、なるべく先生とのやり取りでは筆談で聞き直したりしています。

質問② 授業では、どのような支援を受けていますか？

答え：対面授業の時には、UDトーク、パワポなどの視覚支援、レジュメ、要約筆記を中心に受けています。オンライン授業の時には、UDトークとパワポ、パソコンテイクなどの支援を受けています。UDトークは誤字もあるので、途中から誤字修正をしてくれる人を支援センターで呼びかけてもらい、修正してもらえるようになりました。自分が困った時には支援センターに相談して、自分に合った支援を一緒に考えています。

質問③ 一人暮らしは、どうですか？(楽しいですか？大変ですか？理由も教えてください。)

答え：掃除、買い物などすべてのことを自分一人でやらないといけないことが大変でした。一人暮らしをして良かったと思うのは、普段いかに自分が何もしていないのかということに気付くことができたことです。僕自身、夏休みなど長期休みの時にお風呂掃除、皿出し、片づけなど簡単なことしかやっていませんでした。手伝いの認識が甘かったように今では感じています。また、自由に時間が使えるのも良い点だと思います。

質問④ 初めて会う人とコミュニケーションをとる上で大切だと思うことは何ですか？

答え：聞こえのことなどを理解してもらえるように、自己理解が必要だと思います。何ができて何ができないのかを理解すること、そしてそれを伝える力が大切だと思いました。僕は口の動きを読めば、ある程度は理解できるということと、早口になると分からないということ、音は聞こえるけど言葉としてはあまり認識していないことに絞り、なるべく最初に伝えるようにしています。

質問⑤ 在校生へ伝えたいことや、在学中に身につけておくべき力などを教えてください。

答え：僕は大学に入る前は、心地良かったろう学校と家の二つの居場所以外の居場所を作ろうとしていませんでした。自分が作ってきた居場所から離れると、今まで見えてこなかったものが見えてくるように感じます。大学に入り、いろんなことが刺激的で新しい発見も失敗もできるようになりました。高校を卒業するまでに、居住地交流やボランティア、普段は触れない環境に自分から出向くことなど、もっとできたことがあったのではないかなと思う時があります。今のうちにできることにどんどん挑戦していくと、それぞれ自分の力を発見したり、新しく手にしたりできるようになると思います。

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「^え咲む」上映会のご案内

この映画は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、製作されました。一人の若きろうの女性が、喜びや葛藤の中で生き、様々な障壁を乗り越えていく姿が描かれています。

【島根県内の上映予定】

- ① 2021年4月25日(日) 13:30～ 平田文化館にて
 - ② 2021年6月20日(日) 13:30～ 斐川文化会館にて
 - ③ 2021年9月19日(日) 13:30～ ビッグハート出雲にて
- 料金：高校生以上 1,200円 / 小中学生 500円 / 乳幼児 無料

※詳細は、全日本ろうあ連盟のホームページ等でご確認ください。

